

沖縄

# 平和行進で



行った

歩いた

解った!



# 平和行進

## コレイク タイム

0005

5月10日から13日にかけて、第41回5・15沖縄平和行進が開催されました。今回も3単産（全港湾と全日建連帯と全国一般）として平和行進の取り組みをおこない、全日建連帯から4名、全国一般から10名、全港湾からはオブ・地元参加者を含め83名が参加、総計97名で参加しました。現在、沖縄では辺野古新基地建設問題が大問題となっており、辺野古を土砂で埋め立てさせないよう必死の運動が継続されています。沖縄が日本に復帰して46年、基地も戦争もない平和な世界をめざし「新基地建設反対!」、「辺野古の海を守ろう!」、「オスプレイ反対!」、「基地はいらない!」等々と参加者一同精一杯シュプレヒコールをおこない、沿道の方々からも大きな声援を受けました。そして、行進後は夜の平和交親でおおいに盛り上がりました。

### 魅力ある港湾労働へ、 楽しく組合活動を

東海地方名古屋支部の西脇です。今回の地方コーナーでは名古屋支部の日頃の組合活動についてご紹介いたします。

名古屋支部では、裁判闘争における日検闘争や地域の労働組合との共闘や交流、行政・業界団体・企業との交渉、東海労金や全労済愛知県本部の方を講師に組合員の家族を含めた共済セミナーを行なっております。

支部としては、若い組合員が多く、経験も浅いので、多種多様な活動を行いながら、名古屋港における諸問題や働き方・暮らし方を考え、裁判闘争や共済セミナーで学習をし、団体交渉で経験や反省を繰り返しながら、港湾産別として魅力ある港湾労働を形成出来る様、楽しく組合活動をしてまいります。

(東海地方名古屋支部)

西脇 敬

メーデー万歳



夏季一時金交渉



メーデーにて



日検闘争抗議行動



地域の労働組合とBBQ



# 雇用保障闘争の誇り

## 全国港湾労働セミナー フラガールに感激!

1966年以來  
52年目の「フラガール」



5月21日から23日にかけて、福島県スパリゾートにおいて、第15回全国港湾労働セミナーが開催され、総勢64名が参加、全港湾からも多数参加しました。

開会にあたり全国港湾労委委員長は「私たち港湾労働者の置かれている位置をつかみ深めながら今後どうあるべきかを考えてほしい。そして、産別運動を拡大し地域の運動に役立ててほしい。今後は皆さんが主役、受け継いだものを更に発展させてほしい」と呼びかけていました。

講演はITF東京事務所の瀧所長から「国際労働運動の課題」について、岡山大学の津守教授から「港湾政策の方向と課題および港湾労働組合の対応」について、全国港湾の玉田書記長から「18春闘と産別運動」について、全労済の渡邊・海永氏から「住まいの保障と自動車補償」を受けました。また、福島の地での開催という

ことで、福島県出身の講師・神田香織氏による講演「フラガール」を鑑賞しました。

「フラガール」は、映画でも大変有名になりましたが、高度経済成長以後の日本の産業政策の転換により、石炭から石油へのエネルギー政策の転換が押し進められ、福島の常磐炭鉱で働いていた炭鉱労働者が失業をよぎなくされ、福島の新しい観光産業として、未来の職場の一つとして考案されたものでした。

今日もエネルギー問題、国策転換による雇用問題が各地で起き続けていますが、その解決策の一つの事例としての、雇用保障闘争半世紀後の姿を目にすることができ、懇親会のお酒も一際美味しかったようです。

分科会で産別運動について議論



東北各地の銘酒中の銘酒も勢揃い。



ハワイアンの入口にある看板。「ハアヘオ」とはハワイ語で「誇り」という意味。

Spa Resort  
Hawaiians



ハアヘオ  
Ha'aheo  
あなたの笑顔があるから